

被ばく管理用バッジについて

バッジの着用について

被ばく管理において使用者の被ばくした総量を管理することは非常に重要です。

アイソトープ総合部門では放射線業務従事者登録を行った方が放射線施設を使用する際、学内施設、学外施設を問わず、必ず当部門が発行した被ばく管理用バッジを着用することとなっています。

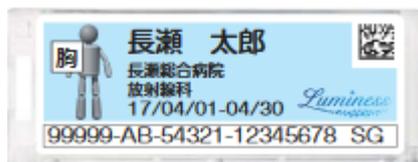
また、学外施設を使用する際にはバッジを持参していないと管理区域へ立入が出来ない場合があります。学外施設を使用される場合には必ず当部門発行のバッジを持参してください。

バッジの種類について

バッジには以下の 2 タイプがあり、使用される作業場に応じて研究グループでバッジのタイプを選択していただきます。

バッジタイプ	測定線種	測定費用(円/個)
SG 型	X・ γ 線、 β 線測定用	399.6 円/個(税込)
KG 型	X・ γ 線、 β 線、中性子線測定用	1836 円/個(税込)

SG 型



KG 型



なお、オンライン申請でのバッジ注文フォームでは S 型、K 型となっています。それぞれ SG 型、KG 型に対応しますので、対応する型番を注文してください。

バッジの注文から返却まで

バッジの着用期間は 1 か月です。当部門の施設を使用される場合には管理区域入口にてバッジを管理していますが、学内の放射光科学研究センターや学外の施設を使用される研究グループには学内便にてバッジを送りしています。使用の終わったバッジの返却につきましても学内便で当部門までお送りください。

バッジの発注から返却までの具体的な流れは以下のようになります。例として 5 月着用分の場合を記載しますので参考としてください。なお、休日など(年末年始、GW 等)で時期に多少の変更がありますので、お知らせのメールを確認してください。

時期	内容
3月末(25日前後)から 4月初旬(5日前後)	オンラインでのバッジ注文のお知らせが連絡担当者あてにメールで届く
4月末(27日程度)	注文したバッジが RI 部門から学内便で手元に届く
5月末、6月初旬	使用が終わったバッジを学内便で RI 部門に返却
6月5日程度	バッジの返却状況を集計し、当部門よりバッジ会社に測定を依頼

バッジ使用の注意点

バッジ裏面のホルダーは着脱が出来るようになっています。破損した場合には取り換えが出来ますので、管理室までお知らせください。

学外施設を使用される場合には持ち運びの際、特に飛行場での機内預入荷物の検査にはご注意ください。

毎年、飛行機利用の際に検査にかけてしまい、測定値に数値が出てしまう方がいます。

飛行機を利用して移動される際には機内への持込手荷物の検査であれば数値が出ることはほぼありませんので、そちらをご利用ください。

バッジの返却期限について(重要)

バッジの素子は繰り返し使用され、返却期限があります。また、長期間未返却のバッジについては素子代が請求されますのでご注意ください。

被ばく放射線量測定サービスでのバッジは、長瀬ランダウア社より借りているものです。返却されたバッジは測定し、その後アニール処理（初期化）し、バッジとして再び使用されています。そのためバッジを返却がされない場合、OSL線量計が足りなくなり、追加補充する必要が発生します。

上記の理由により、未返却分の素子代請求について、着用期間終了後から6ヶ月経過しても未返却のバッジについては、下記の素子代実費請求の対象となりますので、ご注意ください。

なお、着用期間後から6ヶ月経過しますと、バッジ会社の方から未返却者のデータが送られてきます。その際、連絡担当者へメールにて未返却であることをお知らせいたしますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

各タイプの素子代

SG型　・・・　税込 1620 円

KG型　・・・　税込 2160 円

ご不明な点等がございましたら管理室(内線 6290)までお気軽にお問合せください。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。